

## 平成28年度大学ポートレートステークホルダー・ボード概要

日時 平成28年11月14日(月) 13時00分～15時00分  
場所 (独)大学改革支援・学位授与機構 竹橋オフィス1112会議室

## 概要

大学ポートレートの改善の取組状況等について、有識者2名からヒアリングを行った。その後、ステークホルダー・ボード全体として、大学ポートレートの在り方について議論を行った。

## 有識者

黒田壽二氏(金沢工業大学学園長・総長)(当日配布資料のみ)  
小林浩氏(リクルート「カレッジマネジメント」編集長)

## 主な意見

## 【公表・検索画面について】

- 民間サイトは私立大学の情報が多いため、国公立大学の情報が網羅的に掲載されている点は高校教員も評価している。(小林浩氏)
- 共通のフォーマットを使ってわかりやすくというのが大学ポートレートの趣旨だが、国公私ともに受験生や保護者に分かりやすい情報を伝えることが必要。(小林主査)
- 少子化のため、保護者も進路指導を教員に頼ることが多い。進路指導教員や高校生が使いやすいサイトであることが必要。(小林浩氏)
- 入試方法の多様化により、受験生や保護者も偏差値以外の軸を探している。各大学のきちんとした情報を一覧で見れることが大学ポートレートに求められることではないか。様々な指標のランキングが出てきたせいか、ランキングを意識し過ぎている。大学間や経年で見られるような表示がよい。(小林浩氏)
- 必要な情報が一覧で出ることが使いやすくなるうえで重要だと思う。(小林主査)
- 大学ポートレートは国公立大学のご意見を頂きながら運営しているが、現状のままではアクセス数減により立ち行かなくなるおそれがある。今後運営方針などを決めるに当たり、この点について私立大学関係者の方にも認識を持っていただく必要があるのではないか。(小林主査)
- 学びたいことにどんなジャンル、教員がいて、どんな奨学金制度があるかといったことが一元的にわかるようなウェブサイトにしてほしい。(勝方委員)
- 大学評価が載っているのはよいが、リンク先が大学により異なる。掲載情報について大学向けにガイドラインを定めてはどうか。(小林浩氏)

【広報について】

- 内容の充実も大切だが、高校生・保護者に届くような広報をしないと意味がない。  
PTA でもチラシ等広報物を高校に送付しているが、学校に届いても生徒、保護者に届かないといったことが起きている。(森崎委員)
- 広報活動について、もっと効率的にアナウンスする必要がある。(杉谷委員)

【その他】

- ページビュー数について、論理的に妥当な目標と大学ポートレートの存在意義としてどこを目標とするか、両方の目標が必要である。(川目委員)
- 高校の先生等に集まっていただき、改善点をヒアリングすると意見がたくさん集まるのではないか。(川目委員)